

第45回日本血液事業学会総会プログラム

SP1

特別企画 1

1 日目：11 月 9 日（火） 14：40 ～ 16：10 第 1 会場

改善活動本部長賞候補演題

座長：瀧原 義宏（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）
前野 節夫（日本赤十字社血液事業本部）

SP1-1 北海道ブロック血液センターにおける
日常業務の自動化技術 RPA の導入
近藤 知（北海道赤十字血液センター）

SP1-2 北海道さい帯血バンクにおける臍帯血提供者の増加を目指した
広報活動
内藤 友紀（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SP1-3 10 代献血へ向けた効果的な取り組み
—コロナ禍でも持続可能な献血セミナーとラブラッド登録推進—
保科 美有（山形県赤十字血液センター）

SP1-4 看護師応援プロジェクト
「働き方改革の実現に向けた採血セミナーによる看護師募集」
加藤 誌穂（愛知県赤十字血液センター）

SP1-5 「生産管理システム」導入による製剤作業室での作業の見える化について
窪田 英孝（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SP1-6 業務内容改善プロジェクトにおける供給業務検討チームの
作業環境改善活動について
沼本 高志（岡山県赤十字血液センター）

SP1-7 効率的な分割血小板の確保と減損率低下に向けた「ドナーカルテ」の活用
川村富有子（高知県赤十字血液センター）

SP1-8 みんなでつくる防災ガイドブック
～マニュアルの簡略化と ICT を活用した情報共有の円滑化～
長瀬さくら（福岡県赤十字血液センター）

SP2

特別企画 2

2 日目 : 11 月 9 日 (火) 16 : 20 ~ 17 : 40 第 1 会場

ブロック血液センター所長推薦優秀演題

座長 : 入田 和男 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

小林 正夫 (日本赤十字社中四国ブロック血液センター)

【九州ブロック】

SP2-1 未然に防ぐ『災害リスクマネジメント』への取組み

溝口 昌一 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

【中四国ブロック】

SP2-2 中四国ブロックにおける医薬情報担当者育成プログラムの成果

船津 理恵 (日本赤十字社中四国ブロック血液センター)

【近畿ブロック】

SP2-3 朝メールと退社時刻宣言フラグ活用の取組みについて

浅川 侑香 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

【東海北陸ブロック】

SP2-4 新しい「血液製剤発注システム」の使用経験について

櫻井 雄太 (三重県赤十字血液センター)

【関東甲信越ブロック】

SP2-5 年間複数回「400mL 献血者」を増やす取組み

～看護師と連携した推進の効果～

ペティート タク (千葉県赤十字血液センター)

【東北ブロック】

SP2-6 コロナ禍での医薬情報活動

—オンラインによる効果的な取組み—

國井 華子 (秋田県赤十字血液センター)

【北海道ブロック】

SP2-7 さい帯血提供者とさい帯血移植患者の心をつなぐ仕組み作り

—さい帯血バンクが仲介する手紙による心の共有—

清水 香織 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

SP4

特別企画 4

2 日目 : 11 月 10 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 20 第 1 会場

血液事業本部・4 部会からの報告

「ニューノーマルにおける血液事業をどう考え、どう進める」

座長 : 高橋 孝喜 (日本赤十字社血液事業本部)

SP4-1 献血者対応部会からの報告

豊田 九朗 (日本赤十字社血液事業本部)

SP4-2 医療機関対応部会からの報告

～コロナ禍における輸血医療の環境変化を踏まえ～

北井 暁子 (日本赤十字社血液事業本部)

SP4-3 技術安全対応部会からの報告

佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部／日本赤十字社血液事業本部
中央血液研究所)

SP4-4 マネジメント部会からの報告

中西 英夫 (日本赤十字社血液事業本部)

SL1

特別講演 1

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 11 : 00 ~ 12 : 00 第 1 会場

血液事業に対する日本輸血・細胞治療学会からの提案

演者 : 松下 正 (名古屋大学医学部附属病院輸血部 / 日本輸血・細胞治療学会)

座長 : 竹尾 高明 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

SL2

特別講演 2

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30 第 1 会場

自己免疫疾患と補体

演者 : 若宮 伸隆 (酪農学園大学農食環境学群食と健康学類)

座長 : 瀧原 義宏 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

SL3

特別講演 3

2 日目 : 11 月 10 日 (水) 11 : 00 ~ 12 : 00 第 1 会場

輸血医療の現況と今後の展望

演者 : 田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター輸血部)

座長 : 柴崎 至 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)

SL4

特別講演 4

3 日目 : 11 月 11 日 (木) 11 : 00 ~ 12 : 00 第 1 会場

テクノロジーと人との調和 人工知能最前線と応用事例

演者 : 川村 秀憲 (北海道大学大学院情報科学研究院)

座長 : 中西 英夫 (日本赤十字社血液事業本部)

SY1

シンポジウム 1

1 日目：11 月 9 日（火）9：00～10：50 第 1 会場

医療需要を見据えた今後の血液事業～コロナ禍で見えてきたもの～

座長：北井 暁子（日本赤十字社血液事業本部）

中島 一格（日本赤十字社血液事業本部）

①需要予測を踏まえた献血者シミュレーションについて

鹿野 千治（日本赤十字社血液事業本部）

②医療機関意識調査の結果について コロナ禍を踏まえて

日野 郁生（日本赤十字社血液事業本部）

③ポストコロナを見据えた血液事業の方向性～行政の立場から～

中谷祐貴子（厚生労働省）

④輸血医療の現場からみた血液事業への期待

牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

SY2

シンポジウム 2

1 日目：11 月 9 日（火）9：00～10：50 第 2 会場

HEV NAT スクリーニングの現状と効果

座長：飯田 俊二（日本赤十字社血液事業本部）

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

共催：グリフォルス株式会社

① E 型肝炎

松林 圭二（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②北海道献血者を対象とした試行的 HEV NAT

坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

③ HEV NAT スクリーニングの全数検査

谷重 直子（日本赤十字社血液事業本部）

④輸血後 HEV 感染症（遡及調査を含む）

後藤 直子（日本赤十字社血液事業本部）

SY3

シンポジウム 3

2 日目 : 11 月 9 日 (火) 9 : 00 ~ 10 : 50 第 3 会場

Donor Health Care — Better Donor Service をめざして—

座長 : 山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

石丸 文彦 (東京都赤十字血液センター)

①採血副作用の動向とその姿

山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

②レーザー血流計におけるドナー管理

算用子裕美 (北海道赤十字血液センター)

③遅発性血管迷走神経反応 (VVR) の危険因子と予防策

難波 寛子 (東京都赤十字血液センター)

④血管迷走神経反応発生への環境要因の影響

—有楽町献血ルームのリニューアルを例に—

橋爪 龍磨 (東京都赤十字血液センター)

⑤穿刺技術習得における教育教材及びカリキュラムの評価について

～採血副作用対策に向けた技術的教育～

濱田小百合 (広島県赤十字血液センター)

SY4

シンポジウム 4

2 日目 : 11 月 10 日 (木) 9 : 00 ~ 10 : 50 第 1 会場

血液事業の広域事業運営体制 10 年を振り返って—今後へ活かす知恵—

座長 : 中西 英夫 (日本赤十字社血液事業本部)

佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部／日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

①広域事業運営体制発足の理念・意義

千葉 広一 (日本赤十字社血液事業本部)

②ブロック血液センターにおける 10 年間の歩み、現状と課題

中島 信雄 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

③検査部門・製造部門における 10 年間のあゆみ、現状と課題

石丸 健 (日本赤十字社血液事業本部)

④広域事業運営体制における地域センターの現状と課題

簗持 俊洋 (東京都赤十字血液センター)

SY5

シンポジウム 5

2 日目 : 11 月 10 日 (木) 9 : 00 ~ 10 : 50 第 2 会場

【北海道輸血シンポジウム合同企画】新しい血液製剤のニーズと開発

座長 : 宮田 茂樹 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

木村 貴文 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

①新規血液製剤の海外における開発動向と本邦での検討

宮田 茂樹 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

②冷蔵保存血小板に関する本邦における検討

小池 敏靖 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

③本邦における全血由来血小板製剤の調製に関する検討

藤原 満博 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

④乾燥血漿の開発状況

平 力造 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

⑤まれ血製剤の供給と国際協力

谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)

SY6

シンポジウム 6

3 日目 : 11 月 11 日 (木) 9 : 00 ~ 10 : 50 第 1 会場

血液事業におけるデジタル化への変革

座長 : 前野 節夫 (日本赤十字社血液事業本部)

秋野 光明 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

①デジタルトランスフォーメーションを正しく進めるために必要なキーワード～"なぜ" デジタルなのか～

村田聡一郎 (SAP ジャパン株式会社)

②次期血液情報システムの開発について

重田 達身 (日本赤十字社血液事業本部)

③ ICT を活用した検診体制と認定インタビューアー

生田 克哉 (北海道赤十字血液センター／日本赤十字社血液事業本部)

④ RPA の導入・活用のススメー北海道 BBC が取り組んだ RPA 寺小屋塾ー

永井 猛 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

SY7

シンポジウム 7

3 日目 : 11 月 11 日 (木) 9 : 00 ~ 10 : 50 第 2 会場

献血者確保策を探る

座長 : 豊田 九朗 (日本赤十字社血液事業本部)

松田 由浩 (日本赤十字社血液事業本部)

① 将来人口推計とレセプトデータから見る献血者確保の試み

田中 純子 (広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学)

② コロナ禍の献血、約 1 年半を振り返って

井上 慎吾 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター／
東京都赤十字血液センター)

③ 北海道の予約献血推進による献血者確保

小島 聡 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

④ 献血思想の普及 若年者への献血教育による献血者確保

櫛木 健治 (福岡県赤十字血液センター)

⑤ 血液センター内の部署間連携による献血者確保

金子 健一 (千葉県赤十字血液センター)

SYmini

ミニシンポジウム

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 50 第 3 会場

血液型に関する最新情報

座長 : 谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)

宮崎 孔 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

共催 : ベックマン・コールター株式会社

① KANNO 血液型について

伊藤 正一 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)

② 新たな MNS 血液型抗原 SUMI

小笠原健一 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

③ Kg 血液型について

田中 光信 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

④ 赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の開発

栗田 良 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

WS1

ワークショップ 1

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 14 : 30 ~ 16 : 20 第 2 会場

輸血及び血液製剤の情報に関するハブとしての医薬情報担当者

座長 : 牧野 茂義 (虎の門病院輸血部)

生田 克哉 (北海道赤十字血液センター)

①医療機関から見た日赤の MR 活動に期待すること

松本 雅則 (奈良県立医科大学輸血部)

②実働 MR の視点から

館谷利江子 (東京都赤十字血液センター)

③地域特性を捉えた MR 活動

田平 一葉 (山梨県赤十字血液センター)

④コロナ禍における MR 活動

森下 勝哉 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

⑤これからの医薬情報活動について

日野 郁生 (日本赤十字社血液事業本部)

WS2

ワークショップ 2

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 16 : 30 ~ 18 : 00 第 2 会場

事務部門の変革に向けて

座長 : 津野 寛和 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

会川 勝彦 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

①在宅勤務の現状と課題

皆川 信也 (日本赤十字社血液事業本部)

②RPA 活用による働き方改革の取り組み

長江 範之 (旭川赤十字病院事務部)

③職員のマルチタスク化

藤田 秀行 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

④事業部門の事業戦略の作り方

〔医師かつ MBA (経営管理修士号) としての血液事業経営企画の考え方〕

津野 寛和 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

WS3

ワークショップ 3

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 15 : 00 ~ 16 : 30 第 3 会場

品質保証 一つ上の GMP を目指して

座長 : 圓藤ルリ子 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

宮作 麻子 (日本赤十字社血液事業本部)

①品質保証

遠藤 嘉浩 (日本赤十字社血液事業本部)

②日本血液製剤機構における医薬品品質システム (PQS) の運用について

大場 徹也 (一般社団法人日本血液製剤機構)

③査察から見てきた当製造所の課題と取り組み

谷川美佳子 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

④当製造所における教育訓練とスキルマップの運用

樋口 敏生 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

WS4

ワークショップ 4

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 16 : 40 ~ 18 : 10 第 3 会場

今後の供給体制について

座長 : 面川 進 (秋田県赤十字血液センター)

保坂 勇一 (日本赤十字社血液事業本部)

①交通事故防止の取り組み

下垣 昭二 (日本赤十字社血液事業本部)

②定時・臨時配送の現状と課題

佐々木 大 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)

③ WEB 発注システムの普及と課題

佐藤 範之 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

④供給に関する最新の話

杉山 朋邦 (日本赤十字社血液事業本部)

WS5

ワークショップ 5

2 日目 : 11 月 10 日 (水) 15 : 30 ~ 17 : 00 第 2 会場

クリニカルパス～対応の標準化と効率化～

座長 : 川口 泉 (日本赤十字社血液事業本部)

荒木あゆみ (北海道赤十字血液センター)

① クリニカルパス～対応の標準化と効率化～

北折健次郎 (宮崎県赤十字血液センター)

② 宮崎センターにおけるクリニカルパスの現状と課題

長峰 三和 (宮崎県赤十字血液センター)

③ クリニカルパスと献血看護

高橋 幸博 (奈良県赤十字血液センター)

④ ICT を用いた検診体制下でのクリニカルパス

松本美由紀 (北海道赤十字血液センター)

WS6

ワークショップ 6

2 日目 : 11 月 10 日 (水) 9 : 00 ~ 10 : 30 第 3 会場

改善活動をさらに推進するために : 改善活動血液事業本部長賞受賞後の進展と課題

座長 : 中川 國利 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)

瀧原 義宏 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

① 血小板製剤の梱包方法の改善

— 中四国ブロック内の統一方法構築も見据えて — (2020 年度受賞)

熊野 可苗 (日本赤十字社中四国ブロック血液センター / 広島県赤十字血液センター)

② 「教育訓練管理システム」受賞後の進展と課題

小川 正則 (神奈川県赤十字血液センター)

③ パンフレットを活用した献血者の健康管理について

～ 病院受診のための紹介状から見えるもの ～

久保 聖子 (岩手県赤十字血液センター)

④ NAT を含む感染症関連検査業務の効率化と平準化

～ 2016 年の改善から 5 年、検査機器の変更を経て ～

圓藤ルリ子 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

⑤ 「改善活動」を企業文化にするために

中間 弘和 (公益財団法人日本生産性本部)

WS7

ワークショップ7

2日目：11月10日（水）15：30～17：00 第3会場

臍帯血移植2万症例突破 さらなる事業展開へ

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

室井 一男（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

①臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—北海道さい帯血バンクー

関本 達也（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

②臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—関東甲信越さい帯血バンクー

峯元 睦子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③臍帯血公開数増加の取り組み—近畿さい帯血バンクの取り組み

木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

④臍帯血の保存数増加に向けた取り組み—九州さい帯血バンクー

山口恵津子（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

⑤臍帯血バンクへの支援と今後の課題

東 史啓（日本赤十字社血液事業本部）

WS8

ワークショップ8

3日目：11月11日（木）9：00～10：30 第3会場

製造部門の生産統制に向けた取り組み

座長：安村 敏（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

川島 航（日本赤十字社血液事業本部）

①全血採血由来製剤の生産ライン最適化に向けた取り組み

新田 誠（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

②成分採血由来製剤の生産ライン最適化に向けた取り組み

佐藤えりか（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③生産工程における進捗の見える化への取り組み

下垣 一成（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

④生産年齢人口の減少に向けた北海道 BBC の取り組み

—協働ロボットと冷蔵冷凍対応 AGV の導入—

梅田 浩介（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

EL1 ～ 4

教育講演 1 ～ 4

医療者のためのデータ解析入門

演者：田久 浩志（国士舘大学大学院救急システム研究科）

EL5

教育講演 5

在宅輸血の現状と課題

演者：宮下 直洋（HOME CARE CLINIC N-CONCEPT）

EL6

教育講演 6

貧血―基礎から最近の話題まで―

演者：生田 克哉（北海道赤十字血液センター／日本赤十字社血液事業本部）

EL7

教育講演 7

免疫グロブリン製剤の効能・適応疾患

演者：佐藤 一也（JA 北海道厚生連旭川厚生病院血液腫瘍内科）

EL8

教育講演 8

血小板減少の臨床的意義

演者：羽藤 高明（愛媛県赤十字血液センター）

EL9

教育講演 9

赤血球輸血の臨床：血液センター職員のためのガイドライン解説

演者：米村 雄士（熊本県赤十字血液センター）

EL10

教育講演 10

新鮮凍結血漿の使用ガイドラインについて

演者：長谷川雄一（茨城県立中央病院／筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター）

EL11

教育講演 11

一緒に RPA ロボを作ろうーあなたの業務、自動化しませんかー

演者：梶尾 大輔（UiPath 株式会社）

EL12

教育講演 12

5分で改善！？日本赤十字社全社統合情報システムで出来る「カンタン」「ベンリ」な業務改善

演者：鈴木 秀夫（日本赤十字社）

EL13

教育講演 13

ヘモビジランス・トレーサビリティについて

演者：浜口 功（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

EL14

教育講演 14

トリマ アクセル 基本原理から効率運用のご紹介

演者：五十嵐歩実（テルモ BCT 株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL15

教育講演 15

TACSI の動作原理および実運用における留意点

演者：丸田 千明（テルモ BCT 株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL16

教育講演 16

血液事業における感染対策～安心して献血できる環境づくりのために～

演者：坂本 真己（ゴージョージャパン株式会社）

共催：テルモ BCT 株式会社

EL17

教育講演 17

放射線源の代替技術として求められる X 線照射装置と海外の状況

演者：藤田 勇一（富士フイルムヘルスケア株式会社）

EL18

教育講演 18

成分採血装置コンポーネントコレクションシステム（CCS）について

共催：ヘモネティクスジャパン合同会社

EL19

教育講演 19

新製品 ヘモグロビン分析装置「コンポラブ TM」の導入に際して

演者：岩城 剛（フレゼニウス カービ ジャパン株式会社）

座長：首藤加奈子（神奈川県赤十字血液センター）

共催：フレゼニウス カービ ジャパン株式会社／株式会社ジェイ・エム・エス

EL20

教育講演 20

検査機器の校正と精度管理—身近な例で考えてみましょう—

演者：赤井 保正（シスメックス株式会社）

共催：シスメックス株式会社

EL21

教育講演 21

血液製剤におけるヒトパルボウイルス B19 感染症対策

演者：坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催：グリフォルス株式会社

EL22

教育講演 22

献血者の感染症スクリーニング抗原・抗体検査

演者：小島 牧子（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催：アボットジャパン合同会社

EL23

教育講演 23

血液暴露事故時の関連検査と検査法の特徴

演者：土田 貴彦（アボットジャパン合同会社）

共催：アボットジャパン合同会社

EL24

教育講演 24

白血球除去について学ぼう！

演者：小林 健次（旭化成メディカル株式会社）

共催：旭化成メディカル株式会社

EL25

教育講演 25

輸血細菌感染症対策の現状と未来

演者：後藤 直子（日本赤十字社血液事業本部）

EL26

教育講演 26

AI-OCR を活用した業務のデジタル化、ペーパーレス化のポイント

演者：杉原 弘恭（オートメーション・エニウェア・ジャパン）

EL27

教育講演 27

安心、安全な製品を製造するために大切なこと

演者：河合 雅治（SB カワスミ株式会社）

共催セミナー

1 日目 : 11 月 9 日 (火) 12 : 20 ~ 13 : 20

共催セミナー 1 (第 1 会場)**共催 : シスメックス株式会社****COVID-19 と対峙して****演者 : 豊嶋 崇徳 (北海道大学大学院医学研究院内科学分野血液内科学教室)****座長 : 生田 克哉 (北海道赤十字血液センター)****共催セミナー 2 (第 2 会場)****共催 : 富士フイルム和光純薬株式会社 / 旭化成ファーマ株式会社****糖尿病合併症とグリコアルブミン (GA) について : 久山町研究****演者 : 二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野)****座長 : 入田 和男 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)****共催セミナー 3 (第 3 会場)****共催 : SB カワスミ株式会社****糖鎖って何?—私たちの健康をつなぐ生命の鎖****演者 : 島岡 秀行 (住友ベークライト株式会社)****座長 : 谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)**

共催セミナー

2 日目 : 11 月 10 日 (水) 12 : 20 ~ 13 : 20

共催セミナー 4 (第 1 会場)

共催 : テルモ BCT 株式会社

データマネジメントシステム TOMEs —その機能と海外活用事例—

演者 : 宇野カオル (Terumo Blood and Cell Technologies)

座長 : 生田 克哉 (北海道赤十字血液センター)

共催セミナー 5 (第 2 会場)

共催 : アボットジャパン合同会社

疫学調査からみた SARS-CoV-2 感染症と関連検査

演者 : 田中 純子 (広島大学大学院医系学研究科疫学・疾病制御学)

座長 : 津野 寛和 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

共催セミナー 6 (第 3 会場)

共催 : オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

再生医療・細胞治療における臨床検査技師の関わり

演者 : 小嶋 俊介 (信州大学医学部附属病院輸血部／先端細胞治療センター)

座長 : 宮城 徹 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)